

令和 6年度予算見積調書

課室名: 医療整備課
 担当名: 地域医療対策担当
 内線: 3672

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
S102	搬送調整体制強化事業費			一般会計	衛生費	医薬費	医務費	救急医療対策費		
事業期間	平成26年度～	根拠法令			針路	03	介護・医療体制の充実	SDGsゴール	3	
					分野施策	0303	地域医療体制の充実	SDGsターゲット	3-1, 3-2, 3-3, 3-4	
1 事業の概要	<p>搬送困難事案の最後の受け皿として、救命救急センターを有する医療機関に搬送調整を行う専任医師を配置するとともに、消防法における「傷病者の搬送及び傷病者の受入れに関する基準」の検証などを通じて地域の円滑な救急搬送受入体制を構築する。</p> <p>専任医師の配置 24,982千円</p>			<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容 救命救急センターを有する医療機関に搬送困難事案の搬送調整をはじめ、県内救急医療体制の充実のための業務を行う専任医師を配置する。 24,982千円</p> <p>【専任医師の要件】 ・救急医療に従事する医師で救急医療機関など関係機関・団体との調整等の業務を担うために必要な知識・経験を有する医師 等</p> <p>【専任医師の役割】 ・搬送先医療機関の確保、調整 →9回以上受入れを断られた救急搬送患者の搬送先の調整、自院での受入れ ・救急医療機関及び後方支援病院の確保、支援 ・救急医療の地域における諸課題の把握、分析 ・消防機関・医療機関等に対する指導、助言 等</p> <p>(2) 事業計画 専任医師の配置について、救命救急センターを有する医療機関に業務委託を行う。</p> <p>(3) 事業効果 専任医師による調整により、救急搬送困難事案が削減され、的確・迅速な救急搬送により、安心安全な医療体制が実現する。 【活動指標 (アウトプット)】 搬送調整件数 【活動成果 (アウトカム)】 重症患者のうち、医療機関への受入照会回数が11回以上となってしまう患者の割合を削減する。</p>						
2 事業主体及び負担区分	(国1/2・県1/2)									
3 地方財政措置の状況	なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×0.5人=4,750千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との 対比	
		国庫支出金								
決定額	24,982	12,491						12,491	0	
前年額	24,982	12,491						12,491		

事業内訳書

事業名	搬送調整体制強化事業費		
単位事業名	搬送調整体制強化事業	予算額	24,982千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・ 医薬費補助金	12,491	0	救急医療対策費補助金 補助率 1/2
一般財源	12,491	0	
合計	24,982	0	

○歳出

(単位：千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	24,982	0	搬送調整体制強化事業
合計	24,982	0	